

第6回新居浜市レジ袋削減推進協議会次第

場 所：新居浜市役所 消防庁舎4階コミュニティー防災センター
日 時：10月12日（火）14:00～16:00

- 1 レジ袋無料配布中止1周年キャンペーンの反省について
- 2 レジ袋無料配布中止アンケート調査結果について
- 3 平成23年度レジ袋無料配布中止関係予算について
- 4 意見交換等（平成23年度の活動等について）
レジ袋削減取り組み事業者の拡大（条例化等）

レジ袋無料配布中止 1周年記念キャンペーン (H22.6.1~30) まとめ

1. 店頭キャンペーン

(1) 実施結果 延べ 21 回 (1 時間／回)

(2) 参加団体 にいはま環境市民会議、グループさつき生活学校、にいはま消費者友の会
新居浜市女性連合協議会、新居浜商工会議所女性会

(3) キャンペーン状況

①手作りで抽選応募説明用のボードを用意して説明いただくなど、お客さまにわかりやすいものとなった。

②ビニール製の簡易マイバッグを配布したところでは、お客さまに好評だった。

(4) お客様より

①一人世帯なのでごみを捨てるのにレジ袋がちょうどよい。5円で買って何回か使った後ごみ袋として使っている。

②仕事をしているので週に 1 回まとめて買い物をしている。そのため、マイバッグに入りきらない。

2. チラシについて

(1) ご意見

①字が小さくて見にくい。

②わざわざハガキに貼って出す人はいない。

③せめて台紙はチラシから切り離せるようにしてほしい。切手を張らずに出せればなお良い。

④台紙にレシートを貼りつけて、ごみ減量課へ持参した場合でも受付してほしい。

※持参の場合も受付した。

3. 応募方法・抽選について

(1) 応募結果

応募数 (当選数) = 4, 824 (120) 当選確率: 約 2.5%

(2) 改善すべき事項

食品レジ以外の売り場を有する事業者では、お客さまから、「衣料品等を購入したレシートでも応募できるか?」との問い合わせが数件あった。次回は、「食品レジ」でのレシートのみ有効である旨を記載する必要がある。

4. その他

応募はがきにレジ袋無料配布中止に対するコメントが添えられていた。(全体の約 1.5%)

レジ袋無料配布中止アンケート調査結果

自由なご意見の結果

意見総数483件

【質問の多かった項目】

①協力事業者に関するもの 66/483 件 (13.7%)

賛成) 72.7% 反対) 7.6% どちらとも言えない) 16.7% 無回答) 3%

- ・事業者の足並みをそろえるべき
- ・業種拡大を図るべき

②「レジ袋無料配布中止」の目的・効果に関すること 48/483 (9.9%)

賛成) 35.4% 反対) 12.5% どちらとも言えない) 50% 無回答) 2.1%

- ・レジ袋を削減する目的、効果に疑問がある
- ・結局ごみ袋を購入する必要があるので同じではないか

③レジ袋削減の方法・レジ袋収入の使途に関すること 23/483 (4.8%)

賛成) 17.4% 反対) 47.8% どちらとも言えない) 30.4% 無回答) 4.3%

- ・ポイント還元等、客にメリットのある方法がよい
- ・スーパーの経費削減になっただけではないか

④その他要望等 271/483 (56.1%)

平成23年度レジ袋削減関係予算

広報関連予算

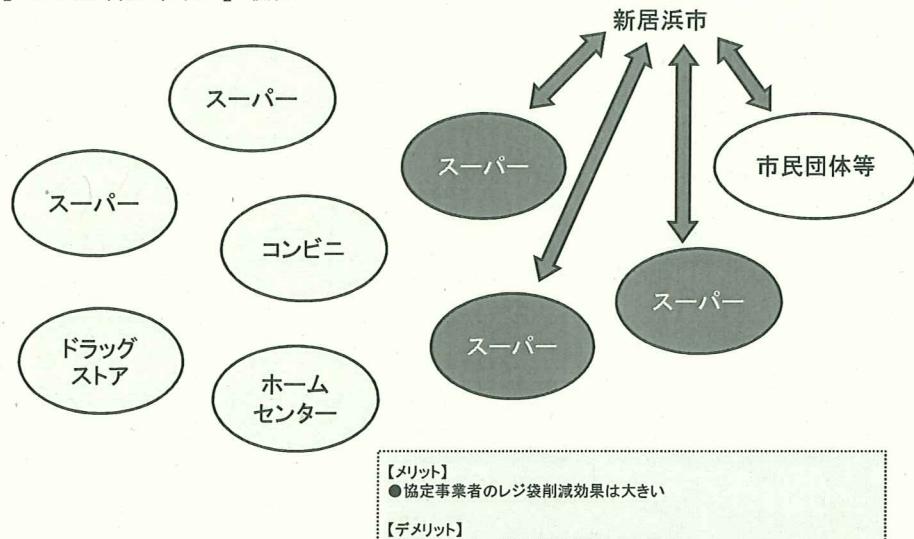
のぼり

チラシ

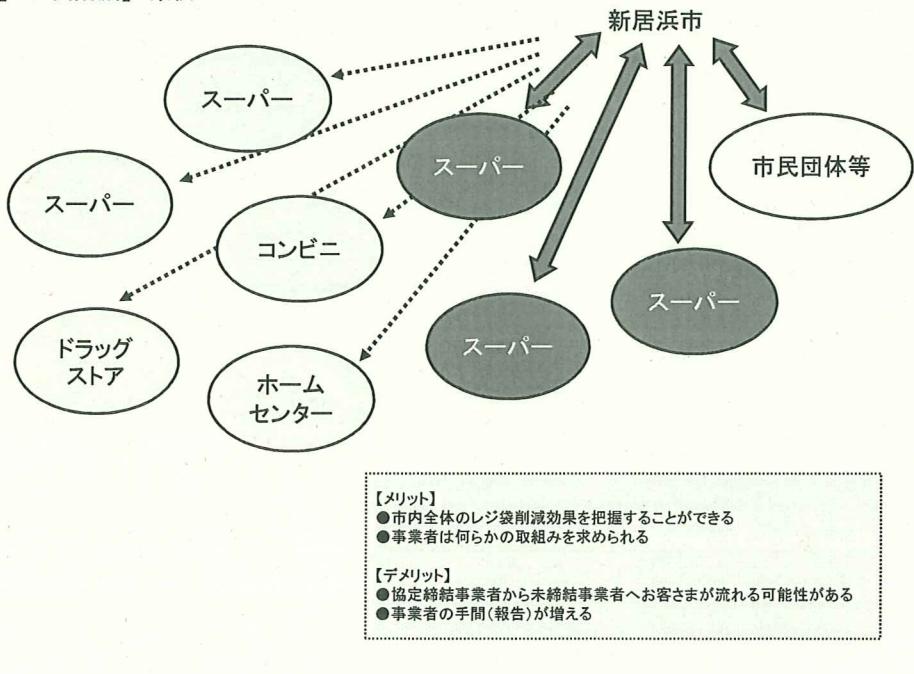
ポケットティッシュ

ポスター

【レジ袋無料配布中止】協定



【レジ袋削減】条例



川口市におけるレジ袋削減に関する取り組みの条例化について

1 背景及び必要性

本市では、地球高温化及びごみ減量化対策、さらには市民のライフスタイルの転換を目的に、市内に店舗を有するレジ袋使用事業者、市民団体及び行政の三者で、本市に相応しいレジ袋の大幅削減のあり方について、川口市レジ袋削減会議を設置し協議を進めてきた。

その結果、三者の協定方式により市内店舗でレジ袋無料配布中止の取り組み（有料化）を実施することが有効との協議に至り、平成20年7月30日に「川口市におけるレジ袋の大幅削減に向けた取り組みに関する協定」を締結し、同年11月10日から協定を締結した12事業者の市内19店舗でレジ袋無料配布中止の取り組みを実施したところである。

しかしながら、実施日以降の世界的な景気の減退や取り組みが市内全店舗で実施されなかつたことなどから、レジ袋無料配布中止の取り組みを一時中止する事業者が相次ぐ結果となった。

そこで、改めて協定締結事業者、市民団体、行政の三者で今後の方向性を協議したところ、業種業態を揃えて取り組みに参加し実効性を高めるためには、条例化が望ましいとの結論に至ったことから、今回、レジ袋の大幅削減に向けた取り組みに関する条例の制定を検討するものである。

なお、多くの容器包装がある中、本市がレジ袋に着目し施策を実施している理由は次のとおりである。

- (1) 地球高温化対策のため（川口市地球温暖化対策地域推進計画の重点行動計画に位置付けている）。
- (2) ごみ減量化対策のため（川口市一般廃棄物処理基本計画ごみ処理編の行動計画に位置付けている）。
- (3) 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律の改正により、事業者に対する排出抑制を促進するための措置（レジ袋対策等）が導入されたため。
- (4) レジ袋は容器包装リサイクル法対象物の中で、消費者が自らに意志によって削減ができる象徴的な容器包装であるため。
- (5) レジ袋は買い物を店舗から自宅まで運ぶためを主目的とする容器包装であるため。
- (6) 受益者負担の原則を確立するため（無料配布されているレジ袋の購入代金は商品価格に上乗せされているため、環境に配慮しレジ袋を辞退した消費者は使用しないレジ袋の代金を支払っている）。

さらに、レジ袋無料配布中止の取り組みは、全国各地の自治体でも実施されており、社会的な要請が高いといえる。

※参考 レジ袋削減に関する取り組み（環境省調査：平成20年11月1日現在）

条例化		1市町村（東京都杉並区）
協定方式	都道府県全域で有料化を一斉実施	平成20年11月1日現在：3都道府県 平成22年3月末までには、上記と合わせ8都道府県が実施予定
	市町村ごとに有料化を実施	平成20年11月1日現在：16都道府県242市町村 平成22年3月末までには、上記と合わせ23都道府県381市町村実施予定
自治体からの協力要請		2市町村（新潟県佐渡市、北海道浜中町）

2 方針

川口市内で発生する（無料配布されている）レジ袋の大幅削減を目指し、条例施行後一定期間経過した年度におけるレジ袋削減率（マイバッグ等持参率）の目標値を定め、レジ袋使用事業者に対し、当該目標値に達成するため取り組みの実施に関する計画書及び計画の達成状況に関する報告書等の提出を義務付ける。

なお、平成20年7月30日に「川口市におけるレジ袋の大幅削減に向けた取り組みに関する協定」を締結し、市内（全）店舗においてレジ袋無料配布中止の取り組みを現に実施している事業者に対しては、報告書提出義務の一部を免除する規定を検討する。

3 条例案の基本的な考え方

（1）市民（消費者）への対応

「川口市におけるレジ袋の大幅削減に向けた取り組みに関する協定」に基づきレジ袋無料配布中止の取り組みを実施している市内店舗においては、レジ袋辞退率（マイバッグ等持参率）は80%を超えるなど、この取り組みについて市民（消費者）の一定の理解は得ているものと考えられる。

そこで、より一層の取り組み向上を目指し、マイバッグ等の持参によるレジ袋の削減への協力を求めていく。

(2) レジ袋使用事業者への対応

容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律において事業者に対する排出抑制を促進するための措置（レジ袋対策等）が導入されていることからもレジ袋削減の取り組みは事業者としても必要不可欠な環境対策である。

そこで、各事業者の市内店舗において、市が設定するレジ袋削減率（マイバッグ等持参率）の目標値に達成するため取り組みの実施に関する計画書及び計画の達成状況の報告書等の提出を規定する。

(3) 罰則について

目標の達成状況（未達成な場合など）に対して、罰金及び過料等の罰則は設けない。

ただし、事業者に作成を求める計画書及び報告書の未提出、虚偽記載、取り組みが不十分な事例に対しては、勧告等の規定を検討する。

(4) スケジュールについて

条例議案提出は平成22年3月議会。

施行期日は平成22年6月1日を目指とする。

レジ袋無料配布中止

協力店

お買い物にはマイバッグを
ご協力を
お願いします



新居浜市議会
削減推進協議会

お買い物にてマイバッグを!!

レジ袋削減にご協力を

お願いします!!



新居浜市レジ袋削減推進協議会

STOP 地球温暖化 CHANGE 循環型社会へ！！



【昨年度の協議会の活動】

レジ袋無料配布中止にご協力いただいた6事業者（20店舗）より、お客様に販売したレジ袋収入から

962,839円

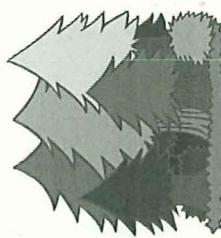
を、新居浜環境保全基金へご寄附いただきました。いただいたい寄附は新居浜市の環境保全に役立ててまいります。市民の皆さんのご協力をお願いいたします！



新居浜市のレジ袋削減成果

(H22. 4. 1～H23. 3. 31)

CO₂削減量 704t



新居浜市営球場 52個分の森林が
1年間に吸収するCO₂を削減

石油節減量 211,104㍑

乗用車が地球を 53周できる
石油を節減

協力企業 (6事業者19店舗)



協力団体 (5団体)

にいしま環境市民会議 新居浜商工会議所 /にいしま消費者団体の会
グループさつき生活学校 新居浜市

※応募方法は裏面